



できる鏡を
うごく楽しみを 生きる喜びを
全ての若者に



認定 NPO 法人 底上げ
年間活動報告書

contents

- 03 理事長挨拶
- 04 スタッフ紹介
- 05 野田卒業
- 06-07 気仙沼プロジェクト
- 08 SOKOAGE CAMP
- 09 若者育成
- 10 その他高校生
- 11 制作物
- 12-13 底上げカレンダー
- 14-15 そこそそ団対話
- 16 そこそそ団
- 17 底上げニュース
- 18 取支報告 / 助成・寄付団体
- 19 認定 NPO 法人底上げについて

2019

年3月に気仙沼市東日本大震災震災遺構・伝承館が開館しました。そこには、震災当時の姿そのままに、津波で3階まで流れ着いた車や多くの瓦礫がありました。あらためて震災当時を思い出し、身が引き締まる思いでした。

あの時からいったい何が変わったのでしょうか。

「辛いこともたくさんあった。逃げ出したくなる経験もたくさんした。でもあの時から何かが変わったよね。」

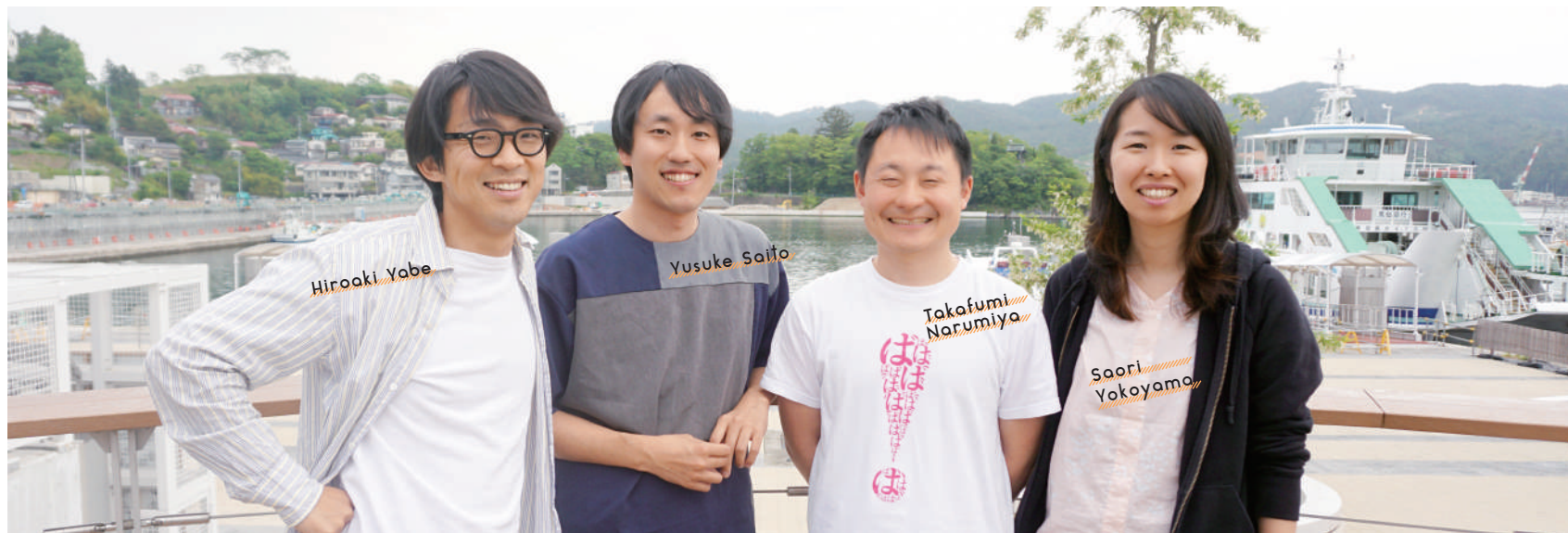
そんな話をいつか仲間としたい。

そんな日を夢見て今日も地道に活動していきたいと思います。

設立から8年目の活動をどうぞご覧ください。

理事長 矢部寛明

スタッフ紹介



矢部寛明

2011年3月気仙沼入り。2012年底上げを創設。縁の下の力もちに憧れつつも結局担がれるタイプ。自由で柔軟な発想で新しく事業を生み出す係。底上げを運営しながらも、大学で教員をしながら大学院で学生もしている。いったいどこへ向かうのか…。そんなことは誰にもわからない。だから楽しいお年頃。

オススメの本

「ティール組織」(英治出版)
底上げの形態はこれに近い。

斉藤祐輔

2011年4月に気仙沼入り、底上げを立ち上げ、その後1年半海外を放浪。帰国後底上げに復帰しSOKOAGECAMPや気仙沼マイプロなどのプログラム企画運営を行う。人が豊かに生きるために必要なものが何かを実践から探求中。人の変化や成長の促進、他者との安心信頼関係の構築をするために対話や体験、ワークショップなどを運営してきた。今はコミュニティや発達心理学に興味を持っている。

オススメの本

「未来を変えるためにほんとうに必要なこと」「キングダム」

成宮崇史

2011年8月に気仙沼に入り、底上げを立ち上げ、気仙沼に根付いて高校生の主体性の教育を中心に、市内の人材育成全般に楽しく関わっている。自分と関わる全ての人の人生が少しでも豊かになるように、いつも近い距離で思いに寄り添う伴走を通じて、ワクワクを持って取り組むチャレンジが広がっていくことを心がけている。

オススメの本

「青虫は一度溶けて蝶になる」
「よなよなエールがお世話になります」

横山沙織

2016年より底上げに参画。仙台でのDrinks開催、ワークショップの企画、その他雑務全般、主に底上げの「こぼれ球」を拾う係。人が自分自身の幸せとは何かを探求し、そこへの一步を踏み出すきっかけになるようなコミュニティや場づくりがしたい。旅と自然が好き。

オススメの本

「一緒に冒険をする」と
「21世紀の楕円幻想論」にいたく感動。

野田卒業

この度退職することになりました。本当に多くの方に支えられ、学びのある5年間でした。当初は2年で団体を離れるつもりでしたが、まさか5年に延びることになるとは思いもしませんでした。底上げというコミュニティの居心地の良さ、挑戦することの面白さがそうさせたのだと思います。本当にありがとうございました。深く御礼申し上げます。

5年間の底上げでの時間は、“底上げで働いた”という表現はあまり適さない気がします。底上げという双眼鏡を使って色々な物を見た感じでしょうか。双眼鏡の機能としては、何を視ても余計な情報をそぎ落とし自分の一番大切なものを鮮明にして届けてくれます。また、どんな困難も笑いに変え、

人生の糧だと示してくれます。これはとても素晴らしく、美しいものかと思われませんが、全てがそうではありません。たまに双眼鏡の先で鏡に映った自分を視ることがあるのです。大切なことがわかっているのになかなかそれに見合った行動がとれない時もありました。そんな自分が汚く、醜く見える時もありました。

4月から横須賀で小学校の教員として働いています。人との向き合い方や、やっていることなどは底上げにいた頃とあまり変わらずにすることができています。子どもたちの成長にほんとうに驚かされる毎日です。底上げを離れても底上げにいた頃のように前向きにチャレンジし続けられるのか。僕の挑戦をどうか見守っていただけたらと思います。

野田篤秀

ありがとうございました！



気仙沼プロジェクト



高校生マイプロ

気仙沼市役所、気仙沼市教育委員会、気仙沼高校、一般社団法人まるオフィス、一般社団法人 i.club、NPO 法人浜わらすとの協働事業。地域の大人たちが、有志が集まった高校生一人ひとりの思いに寄り添って、地域の中で自分がやりたいプロジェクトを興し実践することをサポートしています。2018 年は、24 名の高校生が参加、市長を始め、130 名を超える市内の見学者を集めた「気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード」を実施することができました。地域内のすべての人が、高校生の思いを形にする応援ができるような、気仙沼の仕組みや文化を築いていくため、今後も努力していきたいと思えます。



佐藤菜摘
気仙沼高校 3 年生

私はマイプロを通して、様々な経験をし、成長することができました。また、活動の中でたくさんの素敵な大人の方々、友達に助けていただき、とても恵まれているなど感じました。気仙沼で生まれ、育ってきたことにさらに自信と誇りが持てるようになり、毎日とても幸せです！

気仙沼マイプロバス

気仙沼出身で東京や仙台に進学・就職した若者に、高校生のマイプロのサポートをしてもらうために無料で帰省できるバスを提供しました！市役所の方からお話を聞いたり、地元企業の方とのワークショップも行い、今の気仙沼の熱量と本気度を肌で感じてもらいました。高校生の教育を起点に、人材の還流を気仙沼に創り出すことを目的としながら、より多くの若手出身者に地元で楽しい時間を過ごせるように頑張ります。



伊藤有亮
学習院大学 4 年生

今回のバスツアーに参加して気付いたことがあります。自分の故郷は気仙沼だということです。当然のことのようですが、自分がいちばんほっとする場所。いちばん素でいれる場所。それについて、上京してから考えたことがありませんでした。朝、みんなで食べた気仙沼の朝食は私の五臓六腑が気仙沼産であることを再確認させてくれましたし、高校生たちがパソコンや企画書を前に奮闘する姿は改めて自分も気合いを入れ直すきっかけになりました。自分自身が何者かわからなくなっていた 21 歳の冬を暖めてくれた。そんな機会でした。この機会を私たちにくれた関係者の皆様、本当にありがとうございます。



気仙沼高校キャリアセミナー

今回で3年目、NPO法人ハーベストと協働で行っている気仙沼高校でのキャリアセミナー。今年も35名の講師の方にご協力いただき、高校1年生にそれぞれの多様な人生観や仕事観を、少人数の対話の形で語っていただきました。今回から事前事後の講師の集まりを設け、講師の方々も横で繋がっていけるようなコミュニティ作りを行っています。



底上げ Drinks @気仙沼

ついに実施回数40回突破！高校生と地域の大人との食事を通じた交流の場です。ゆるく繋がりを作れる時間もあれば、高校生の企画を実施する時間としても活用することができ、より多様で意義のある場となっています。たくさんの可能性を感じるコミュニティとして、新しい出会いとアイデアを生かしながら今後も継続していきます。



気仙沼まち大学運営協議会

会員制シェアスペースである「□ship (スクエアシップ)」を中心に、場や繋がりの創出を通して、気仙沼市が目指す、対話・協働・共創のまちづくりの実現に向け努力しています。底上げも民間のメンバーとして携わっています。市役所と民間が一体となり、気仙沼市民すべての人がワクワクして新しいことにチャレンジしていけるようなまちづくりを今後も実践していきます。



未来ゼミ

一般社団法人まるオフィスと協働で行っている高校生向けのゼミです。未来なんて誰にもわからん！ということで、高校生も大人も一緒に学びを得ながら自由に対話をしています。「〇〇の未来」をテーマに、これまで、AIやVR、お金やSNSなどを高校生と一緒に楽しく学んできました。参加した高校生の中には「小論文の参考になりました」なんて声も！これからもワクワクする未来に向けて楽しく学びを積み重ねていきます！



新月中学校

気仙沼新月中学校3年生の総合学習の授業のコーディネートを行っています。市内5つの事業者からミッションを提示してもらい、中学生が約半年かけ、アウトプットを考え作っていきます。答えのない問いに向かって、思考力や協働力が深まり、新しいものを創り出す楽しさを感じてもらえるように事業者と対話しながら授業を作っています。

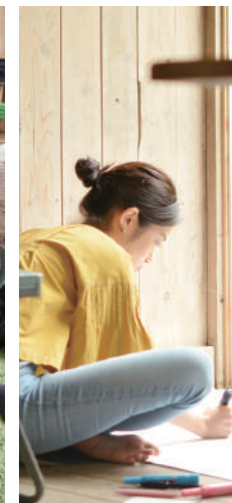
SOKOAGE CAMP



高橋沙希

11期スタッフ

SOKOAGE CAMP に流れている時間は、いつも生きている時間とはすこし違う、ゆっくりとした時間です。スタッフも参加者も本気で向き合うからこそできる、底抜けの愛情空間は初めて触れるものでした。多くの人がこの空間に触れることができたらいいのにと、心から思いました。



川瀬由希子

10期参加者
14期インターン

人生100年時代を生きるといわれる私たち大学生は、今はまだ20年ほどしか生きてはいません。それでも日々、たくさんのが覆いかぶさってきます。その重みに耐えられなくて、どんどん押しつぶされていくことも。

それらをどんな風に扱うのか、どうしたら少しでも身軽になれるのか、考えて向き合える贅沢な時間がキャンプにはありました。



SOKOAGECAMPとは、大学生向けの自己内省プログラムです。全国から大学生が集まり、未来の自分はどうかありたいのか、どう動いていくのかを探求します。1週間気仙沼で合宿をし、徹底的に自分と向き合い、対話する。新しい価値観にふれあい、視野を広げる。そして合宿を終えたあと日常に戻り、仲間とともに進んでいく。過去15回実施し、参加した大学生は127名。安心安全な環境のもと自分に矢印を向け内省ができるコミュニティが少しずつ広がっています。

若者育成



B-action

「環境に慣れるな、環境をつくれ」をコンセプトに、半年間にわたり毎月一回の勉強会を通じて結成される爆笑集団を作る取り組みです。

その中で自らの違和感や課題感を言語化し行動に起こします。B-action（ばくしょん）とは爆笑とアクションの造語です。



赤木菜実子

東北学院大学教養学部 4年

ばくしょんに参加して私が変化したことは、自ら環境を変化させられるようになったことです。周りの人を巻き込みながら課題に取り組んだことで、目標達成しやすい環境をつくることができました。



自分と未来を創る探求所

2018年度から、東京で大学生社会人向けのプログラムを始めました。日々の暮らしの中で自分のほしい未来を探し自分で作ってみる。それをもとに毎月一回集まり参加者同士が対話をしながら自身の変化や特性、ほしい未来を探求します。東日本震災後のさまざまな出会いによって生まれた「わたす日本橋」(<https://www.watasu.net/>)の皆様とともに作っているこのプログラム。東北から進学で関東にきた大学生や、気仙沼で繋がりをもった社会人なども参加しており、東北と東京、今と未来、人の心に架け橋をわたすコミュニティにもなっています。

(※三井不動産株式会社からの業務受託事業)



宮崎さち子

わたす日本橋
プロジェクトメンバー
(三井不動産株式会社)



村上泰吏

わたす日本橋
プロジェクトメンバー
(一般社団法人ボランティアサポート)

ルーツも原体験も、私達わたすメンバーととても重なる底上げの皆様。突き抜けた魅力を放つ彼らに一目惚れしたのが2016年。以来、長い時間をかけてお話を重ね、うまれたのがこの探求所です。探求所で交わされる言葉、表情、空気、そして変化。その全てに、私達も素敵な刺激を受けています。あらためて心からの尊敬と感謝を…!!

その他高校生



TOMODACHI サマー 2018 ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム

TOMODACHI サマー 2018 ソフトバンク・リーダーシップ・プログラムは、東北から 100 名の高校生がカリフォルニア大学バークレー校にて、リーダーシップと地域貢献を学び、帰国後は地域で自ら考えたアクションプランを実践します。2018 年度は、岩手内陸と気仙沼地域の高校生の渡米中、そして帰国後のアクションプラン実践のサポートの為に渡米しました！3 週間のプログラムで大きな刺激を持ち帰った高校生は各々が感じる地域の課題に向き合い、語り部ツアーの企画や、国際交流のイベント実施など個性豊かなアクションプランを実践しました。



底上げ Drinks @ 仙台

仙台での Drinks も今年度開催回数 20 回を突破しました。今年度は「食べる」からより「聞く」「話す」にフォーカスしました。4 月には世界一周学校の中村雅人さんをゲストにお招きして旅について、10 月～12 月にはワークショップデザイナーの相内洋輔さんと伴走者仲間の石川聖さんの協力によりアクションを推進するための 3 回連続講座にも挑戦しました。その他沢山の地域の大人の方のサポートを頂き、高校生、大学生が気軽に参加して交流出来る場になりました！



東北カイギ

MY PROJECT START UP CAMP2018 東北カイギは、東北の高校生が 2 泊 3 日のプログラムを通して、自分の目指す北極星を見つけてマイプロジェクトを作り、実践する！という盛り沢山の内容。底上げは高校生グループのファシリヤ、全体サポート、困った時の相談役、(意外と大事な！) 賑やかしとして参加しました。東北の仲間である多くの伴走者はもちろんのこと、高校生で関わり、今回大学生として参加している学生もあり、年々プロジェクトを支える層に厚みが増えています。



相内洋輔
ワークショップデザイナー

成長過程で底上げと繋がることのできた若者は本当に幸せだと思う。なぜなら底上げのメンバーは、関わった若者が各々の人生を豊かに生きていくことに向かって、いつも全力投球をしているから。そうした大人が身近に存在したという経験は、この世界の見え方や体感温度を、がらっと変えるはず。出会えたご縁に感謝を込めて。

制作物



ライフスタイルゲーム

子どもが楽しみながら未来のこととか、自分の人生のこととか考えられるような教材があったらいいなあと思い、今年度大学生の協力も得て制作しました。このボードゲームはお金の量で競うのではなく、お金・仲間・思い出の3つを尺度とし、ゴール時に点数換算して勝敗を競います。田舎と都会を行ったり来たり、仕事を変えたり続いたり。自分の大切だと思うものを、自分の選んだ暮らし方で集めていく…遊びを通じて対話や価値観を改めて問い直す機会になればと思っています。



底上げ教育論

「底上げさん、若者とどう関わっているんですか？」これまでに頂いたたくさんの問い合わせに対して、「なんとなく感覚で…」ではなく、底上げの中で共有している哲学や価値観を言葉にまとめられないかと構想開始から3年目、やっと「底上げ教育論」として冊子にまとめることが出来ました。設立当時から底上げが高校生を中心に対話していく中で大切にしてきた事、それを振り返ったり言語化することでも新しい気づきがたくさんありました。みなさんと本書を通して教育に対する価値観を共有・交換できるものになれば嬉しく思います。制作に際し、安部芳絵先生（工学院大学 教育推進機構 准教授）には多大なるご支援、ご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます、ありがとうございます！今後はこの冊子を活用したワークショップなどを企画し、若者との関わりについて議論を深めていければと思っています。



藤沢慶子
宮城教育大学2年

作成してみて、暮らす地域、関わる人、仕事など…様々な層から人生は作られていると感じました。わたしたちはその全てを選択してきたのだけど、無意識だった部分に気付いたり、生き方を考えるきっかけとして、このゲームは面白いのかなと思いました！

底上げカレンダー

イベント開催地

■ 気仙沼 ■ 仙台 ■ 東京 ■ その他

2018

04 April

高校生マイプロ：地産地消フェス
(まちの一角を貸切ってフェス)

未来ゼミスタート

底上げ Drinks@ 気仙沼 vol.31

第 15 回底上げ Drinks @仙台

05 May

成宮結婚パーティ

未来ゼミ vol.2

底上げ Drinks@ 気仙沼 vol.32

気仙沼高校放課後相談教室

東北伴走者合宿

第 16 回底上げ Drinks @仙台

底上げ設立 6 周年

06 June

そこそこ団合宿

未来ゼミ vol.3

底上げ Drinks@ 気仙沼 vol.33

気仙沼高校放課後相談教室

新月中授業スタート (~ 12 月)

2 期ばくしょん (~ 11 月)

第 17 回底上げ Drinks @仙台

自分と未来を創る探求所 0 期開始 (~ 11 月)

留学生向け福島ツアー開催

07 July

気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード
スタートアップ合宿

未来ゼミ vol.4

底上げ Drinks@ 気仙沼 vol.34

第 18 回底上げ Drinks @仙台

海士町教育事業視察

野田、ここだけ情報
教員採用試験

08 August

みなと祭り

SOKOAGECAMP8~10 期

あとのまつり

灘高校交流会

海士町報告会

底上げ Drinks@ 気仙沼 vol.35

高校生マイプロ：笑顔っこフェス
(親子を対象にした公民館貸切のフェス)

TOMODACHI サマー 2018 ソフトバンク・
リーダーシップ・プログラム (~ 9 月)

09 September

底上げオールスター感謝祭

SOKOAGECAMP11 期

気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード
中間報告会

未来ゼミ vol.5

底上げ Drinks@ 気仙沼 vol.36

第 19 回底上げ Drinks @仙台

Sokoage Kitchen & 感謝祭報告会

10 October

気仙沼高校キャリアセミナー

底上げ Drinks@ 気仙沼 vol.37

キャリアセミナーアフター交流会

気仙沼高校放課後相談教室

第 20 回底上げ Drinks @仙台 連続講座 1 / 3

東北カイギ ユースソーシャルワーク
宮城合宿運営 (~ 11 月)

11 November

高校生マイプロ：アイビー
(気仙沼の外国の方との食事交流会)

未来ゼミ vol.6

底上げ Drinks@ 気仙沼 vol.38 with 11back

気仙沼高校放課後相談教室

2 期ばくしょん最終報告会

第 21 回底上げ Drinks@ 仙台連続講座 2 / 3

自分と未来を創る探求所 0 期最終報告会



12 December

気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード

気仙沼マイプロバス

NPO フォーラム @ 気仙沼

底上げ Drinks@ 気仙沼 vol.39
with 底上げ Youth 忘年会

新月中授業最終発表

第 22 回底上げ Drinks@ 仙台連続講座 3/3

そこそこ団東北沿岸部マラソン開催

2019

01 January

底上げ Drinks@ 気仙沼 vol.40

気仙沼高校放課後相談教室

3 期ばくしょんスタートアップ (~6 月)

Sokoage Kitchen

スタッフ台湾旅行

ここだけ情報
斉藤は
インフルエンザ
により欠席

02 February

SOKOAGE CAMP12~14 期

未来ゼミ vol.7

全国高校生マイプロジェクトアワード東北大会

第 23 回底上げ Drinks @ 仙台

03 March

底上げスタッフ合宿

底上げ Drinks@ 気仙沼 vol.41
with 卒業パーティー

TOMODACHI 世代グローバルリーダーシップ
アカデミー

底上げ 2018 年度活動報告会

全国高校生マイプロジェクトアワード全国大会



そこそこ団対話

2019.6.8
木曜日

そこそこ団に入って 考えること、感じること

底上げの理念に共感し、体現するコミュニティに会員として参加された皆さんと実施した合宿中の対談の一部をご紹介します！

※そこそこ団は認定 NPO 法人底上げの賛助会員制度です。

そこそこ団合宿にて、語ってみました。



まこと ぼくは営利目的のど真ん中みたいな企業にいますので、経済合理性ばかり追ってしまっただけで、どうしてもそういう視点ばかり持ってしまう中で、底上げはベクトルがいつもしっかりしているよね。採算性や収益で見えないじゃないですか。価値観みたいなものが共有されていて、それで存続できる道を考えようとするところとか、「ああ羨ましいな〜」って。本当はそこに軸を置きたいと思ってるんだけど、実行できない中において。だからどうしてこう言う風にはできないのかな？ってという問いみたいなものが自分にぶつけられている。そこそこ団の輪の中に入っているんな話が聞けて自分にはものすごく刺激になっていて、いつも考えさせられる。共感するところがあるのに、なかなかできないところがあるなって。

矢部 僕らも目的と、持続性、どこでちゃんとバランスを取るかずっと試行錯誤だよな。まあずっとそうなんだろけど。おもしろいところだよな。

なお 私はずっと NPO で働いていたんです

けど、なんとかやってるけど来年はわからないって感じだとそれはそれでもったいないって言うか、まことさんの言う営利の考えをめちゃ知りたい。笑

そこと自分の目的のバランスのいいところを取れたら一番いいなって思う。

私の周りで、「日々頑張ってるってんだけど、底上げみたいに自由なのをいになって思う。でもできない」みたいな話を聞いていて。でも、あんな風にはできないよねってなっちゃうとなんかもったいないなって思ってる。実際会うと底上げて面白いし、意外と (!) ちゃんと考えてる。笑

成宮 最近ちゃんと考えるようにしてきた！笑

矢部 最近、どうやって面白いコミュニティを作っていくかって言うのはすごい考えてる。底上げに収束するっていうのではなく、底上げと何か一緒にやりながら、また別の仕事もするっていうのは環境を作ればできると思ってる。なおちゃんなんてまさにそうだよな。

斉藤 「仕事、暮らし、プロジェクト、学び」このあたりの環境が整うといいのかなって。

プロジェクトって越境しやすいよね。違う属性の人たちと新しい関わり方ができる。パッと思い浮かんだのは農業部とかマラソン。僕の体験なんですけど、どうしても一箇所にいると限界があるなって思ってる。仕事も暮らしても一箇所にいるとどうしても視点が固まったり、周りの人と摩擦が生まれやすくなったり。そういうことが起きやすくなって思う中で、この4つの軸の掛け合わせの中で、東京や気仙沼、仙台いろんなところを選択できる、たとえば仙台のシェアハウスで1ヶ月暮らしながら気仙沼の底上げのデザインの仕事をするとか。そういうことを選びながら生きられたらいいんじゃないかな〜っていうのが最近の僕の頭の中にあるな〜。

山崎 プロジェクトってそんなにがっつきたくないけどいろんな人にいろんな役割を与えてるよね。しかもプロジェクトで社会的ニーズがあり、ビジネスモデルができれば仕事として昇華していくし。そこまでいなくても面白いからやっちゃおうぜっていう気楽さと、終わったら終わったねっていうことを了解し

て集まればプロジェクトはいいよね。あとゆっけのいうように、場面をどんどん展開していくことでその人自身が活性化していく、役割場面を変えていくことで本人が楽になったり一箇所で固着した関係から脱して自分をエンパワーできるような場面を持つてるのはすごい面白いなあって。一人一人がもつ難しいよね〜っていう停滞感に対して、コミュニティでどんどんハードル越えられるようになってくると面白くなっていくよね。

斉藤 そういう意味でいうと気仙沼は揃ってるんですよ〜。やっぱり。

なお 私もいまいろんな人と仕事してるけど、多様な考えが同列で入ってきて、こういう考えもあるんだとかわたしはこう考えるんだとかっていうことに気付いて凝り固まらずにいられる。そう思えるから気仙沼に来ようと思ったし、インプットしながらアウトプットできる人になろうと思った時に気仙沼はやりやすそう、動けそうな町だなって最近思った。



対談日は成宮のバースデー!!!



豊かさは。。。



ふむふむ。。。



横山はオンライン参加です!

そこそこ団はメンバーの やりたいを応援します!!

まことのやりたい!

一緒に走って笑える泣ける場っていうものがもっとやれたらな。あとは、料理を出し合うとか! 作ったことないような人間が担当になって、「練習してこなきゃ!」みたいなドキドキしない? 笑この人がパエリアつくるの〜みたいな笑

山崎のやりたい!

たとえばなるちゃんが話し聞きたい人呼んで話し聞きまくるとか。最少催行人数自分だけみたいな場もいいんじゃないかな。

なおのやりたい!

底上げ回覧板とか? 短文でいいから「私、最近こんなこと気になってます」とか、「こんなことしています」「こんな夢みました」とか(笑) または底上げて最近どうなのよ? という質問でもいいかなと。またはグッズ作り(笑)



長森誠

底上げマラソン部。底上げマラソンで走る事に目覚め、今では大学生も誠さんに影響され走り始める人多数。本人は気づいていないけど、いつも謙虚でひたむきな姿は若者へのインパクト大。



山崎賢治

底上げ監事。自治体職員とNPO代表などいくつものわらじを履きこなす。昨年の底上げ感謝祭では素晴らしいBBQでおもてなし頂きました! とにかくパワフル、そして熱い。



加藤尚

底上げの報告書を毎年素敵にデザインしてくれるデザイナー。秋から気仙沼にてデザイン教育の事業にコミット予定。動物園のような底上げを優しく見守りつつ、しっかり仕事をこなしてしまう素晴らしいパートナー。

そこそこ団



そこそこ団合宿

そこそこ団を集めて気仙沼市のお隣陸前高田市にて、底上げがいまどんなことを考えているのか、そしてそこそこ団として一緒にやりたいことはどんなことがあるかを1泊2日で共有しアイデアを出し合いました。

キャッチコピーは、楽しい事やる、絶対

私たちの考える底上げの賛助会員は、底上げの活動を寄付で応援するだけでなく、底上げの理念に共感し、一緒に体現していく仲間です。
会員だからこそ共有できる情報や関わり方を一緒につくっていきます。



感謝祭

底上げが日頃お世話になっている人向けに、感謝祭を実施しました。そこそこ団合宿で出た「みんなでやりたいことリスト」からのアイデアをもとに、気仙沼市内外から50名程の参加者を集め大島でキャンプをしました。さんまを焼いて振舞ったり、朝マラソンをしたり、そこそこ団のみんなと一緒に、お世話になっている人を招いて感謝を伝えるお祭りになりました。

賛助会員制度（そこそこ団）について

そこそこ団は、底上げマインドに共感し、理念を体現するコミュニティとしてスタッフ、会員が一丸となって「楽しい事やる、絶対」をスローガンに活動しております。是非、私たちの仲間になりませんか？

年会費： ■個人 12,000 円／年 ■団体 50,000 円／年

- ※賛助会員にお申込みの方は申込フォームに入力頂いた内容を会員申込情報としてお預かりいたします。
- ※納入されたご寄付、年会費の返却は致しかねます。
- ※賛助会員資格は9月30日までとなり、10月1日更新となります。
- ※賛助会費は寄付金控除の対象となります。

【入会方法】

賛助会員へのお申し込みは以下のいずれかの入金方法をご選択下さい。（サイトが異なります）フォームに入力いただいた内容を会員申込情報としてお預かりいたします。

▶ 銀行口座から

リンクよりフォームへ入力をお願いします。
振込口座はメールにてお知らせ致します。

※「賛助会員に登録」にチェックをお願いします。

▶ クレジットカードから

支援するより、「年会費会員になる」を選択してください。

- ※ Amazon pay / VISA / Master に対応
- ※お申込み時点でカード決済となり、次回は翌年同日に決済となります。（自動更新）

<http://sokoage.org/donation>



<https://syncable.biz/associate/sokoage/>



底上げニュース

2018年度

矢部 News



先生と生徒

2018年度より宮城大学事業構想学研究科に入学。今までに底上げで実践した事をより理論的に学び直す事を目的とし大学院生となりました。時を同じくして東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科より要請があり教員をやらせていただくことになりました。いやぁ、人生って本当に何があるかわかりません。全ては東北のアップグレードのため。

横山 News



結婚

2019年度の出来事…なのですが2019年4月末に入籍いたしました。この場をお借りしてご報告いたします。ご縁とは不思議なもので、3年ほど前に出会った時にはまさか伴侶になるとは思っていませんでした。早速底上げに婿に来たかのように巻き込まれており、これからは福島県いわき市民になりました！気仙沼、仙台に続いて3か所目の拠点！笑 これからも底上げスタッフとして、ますます新しい事、わくわくする事に邁進したいと思います！

斉藤 News



コーチング資格をとる

2013年から独学と実践を重ねながら取り組んでいたコーチング。誰かから教わることで改めて新しい視点を得られたり、裏付けができたりすることを期待して一般社団法人の半年間カリキュラムに参加。レクチャー・ワーク・実践を積み重ね認定資格を取得。あらためて学びと実践が紐づくて得られるものも深まるということを体感することができました。

成宮 News



結婚パーティ

「気仙沼に行くのでミーティングをしたいです」東京でお世話になっている方からメールが来たのが2018年3月。そこから2ヶ月後の5月19日、予定通りミーティング場所のホテルに行くと、底上げメンバーになぜか壇上にあげられ、目の前の幕が開くと80名ほどの全国の友人がそこには集まっていました。秘密裏に進められていたサプライズ結婚パーティー計画は大成功。人生で初めて、騙されることに喜びを感じました。仲間の幸せを願い努力を惜しまない素敵なメンバーに心から感謝です。本当にありがとう！！

皆の News



卒業旅行 in 台湾

底上げを卒業する野田と最後の思い出を作り、卒業旅行と題し台湾旅行に行ってきました。野田が大学を卒業し底上げに入社してあつという間の5年間。泣き笑いを繰り返しながら過ごした日々を旅行を通じて振り返ってきました。実は底上げスタッフだけではなく、底上げに関わってくれた気仙沼出身の大学生や社会人までもサプライズ参加してくれました。その姿はもう家族同然！素敵な思い出となりました。(斉藤まさかの病欠)



助成・寄付団体



みんなでがんばろう●日本

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

NPO等の絆力を活かした
復興・被災者支援事業交付金

団体会員

アサヤ株式会社

合同会社 宮内倉

株式会社ミライデザインワークス

その他多数のご支援・ご寄付を有難うございます。

収支報告

平成 30 年活動計算書 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日まで)

単位 (円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	40,000	
賛助会員受取会費	372,000	412,000
2. 受取寄附金	5,127,933	5,127,933
3. 受取助成金等	14,441,626	14,441,626
4. 事業収益	0	0
5. その他収益	273	
受取利息	273	
雑収入 (注)	6,927,322	6,927,322
経常収益計		26,909,154
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	3,618,000	
給料手当	6,912,000	
人件費計	10,530,000	
(2) その他経費		
法定福利費	1,575,342	
会議費	190,158	
旅費交通費	2,204,377	
通信費	437,963	
消耗品費	325,977	
修繕費	197,273	
水道光熱費	313,792	
雑合費	108,132	
支払手数料	22,638	
車両費	431,700	
地代家賃	994,457	
保険料	232,196	
租税公課	48,980	
減価償却費	183,253	
印刷製本費	360,797	
謝金	1,288,880	
その他経費計	8,905,914	
事業費計		19,435,914
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	402,000	
給料手当	768,000	
人件費計	1,170,000	
(2) その他経費		
法定福利費	175,039	
会議費	570	
旅費交通費	32,067	
通信費	29,898	
消耗品費	25,413	
修繕費	20,969	
水道光熱費	27,804	
雑合費	12,015	
支払手数料	2,515	
車両費	7,468	
地代家賃	52,114	
保険料	20,852	
租税公課	5,420	
減価償却費	20,361	
印刷製本費	2,614	
謝金	19,440	
その他経費計	453,919	
管理費計		1,623,919
経常費用計		21,059,833
当期経常増減額		5,849,321
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		5,849,321
法人税、住民税及び事業税		39
当期正味財産増減額		5,849,282
前算繰越正味財産額		28,510,334
次期繰越正味財産額		34,359,616

(注)雑収入 6,927,322円のうち、728,555円はICMP参加費収入、2,923,767円は謝金収入、275,000円はB-net160参加収入となっております。

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準 (2010 年 7 月 20 日 2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会) によっています。
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

単位 (円)

科目	子どもたちが自分たちの街の復興について考えたりも会議事業	講演活動による若者の育成キャリアアップ事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益					
1. 受取会費	164,800	206,000	370,800	41,200	412,000
2. 受取寄附金	2,085,393	2,539,617	4,625,010	502,923	5,127,933
3. 受取助成金等	12,041,965	1,999,718	14,041,683	399,943	14,441,626
4. 事業収益	0	0	0	0	0
5. その他収益	0	0	0	0	0
受取利息	109	137	246	27	273
雑収入	1,340,784	5,397,225	6,738,009	189,313	6,927,322
経常収益計	15,633,051	10,142,697	25,775,748	1,133,406	26,909,154
II 経常費用					
(1) 人件費					
役員報酬	1,608,000	2,010,000	3,618,000	402,000	4,020,000
給料手当	3,072,000	3,840,000	6,912,000	768,000	7,680,000
人件費計	4,680,000	5,850,000	10,530,000	1,170,000	11,700,000
(2) その他経費					
法定福利費	700,152	875,190	1,575,342	175,039	1,750,381
会議費	80,152	110,006	190,158	570	190,728
旅費交通費	1,154,847	1,049,530	2,204,377	32,067	2,236,444
通信費	274,777	163,186	437,963	29,898	467,861
消耗品費	121,757	204,220	325,977	25,413	351,390
修繕費	83,232	104,040	187,272	20,809	208,081
水道光熱費	109,297	204,495	313,792	27,324	341,116
雑合費	48,059	60,073	108,132	12,015	120,147
支払手数料	10,061	12,577	22,638	2,515	25,153
車両費	328,826	102,874	431,700	7,468	439,168
地代家賃	694,556	299,901	994,457	52,114	1,046,571
保険料	93,836	138,360	232,196	20,852	253,048
租税公課	21,680	27,300	48,980	5,420	54,400
減価償却費	81,446	101,807	183,253	20,361	203,614
印刷製本費	218,509	142,288	360,797	2,614	363,411
謝金	940,080	348,800	1,288,880	19,440	1,308,320
その他経費計	4,961,267	3,944,647	8,905,914	453,919	9,359,833
経常費用計	9,641,267	9,794,647	19,435,914	1,623,919	21,059,833
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	39	39
当期経常増減額	5,991,784	348,050	6,339,834	-490,552	5,849,282

認定 NPO 法人底上げについて

所在地

〒 988-0023 宮城県気仙沼市南が丘 2-2-12

TEL 0226-25-9670 FAX 0226-25-9670

Email info@sokoage.org

<http://www.sokoage.org/>

facebook でプログラム情報を配信中!



認定 NPO 法人
底上げ



底上げ Youth



SOKOAGE
CAMP

運営体制

理事長	矢部寛明	理事	野間口侑基
副理事長	齋藤祐輔		齋藤裕輔
理事兼事務局長	成宮崇史		天貝祐樹
南三陸スタッフ	野田篤秀		金指了
スタッフ	横山沙織		喜内尚彦
			スミス光永奏者
		監事	山崎賢治
		顧問税理士	滝澤正樹

Special Thanks 底上げにかかわる全てのみなさま

Designed by Nao Kato

ご寄付について

皆様からご支援頂いた寄付金は、復興支援事業、地域の若者育成事業、交流事業に使わせていただきます。
認定 NPO 法人底上げの活動にご賛同頂ける方からの温かいご支援をお待ちしております。

▶ クレジットカード (Syncable)

右記リンク先または QR コードからお振込をお願いいたします。

※ amazon pay/VISA/master に対応

<https://syncable.biz/associate/sokoage/>



▶ ゆうちょ銀行

口座種別：振替口座
口座名：特定非営利活動法人底上げ
記号番号：02290-9-120905

▶ ゆうちょ銀行以外からお振込みの場合

ゆうちょ銀行
預金種目：当座
店名：二二九店（ニニキユウ店）
口座番号：0120905

寄付金控除には領収書が必要になりますので、振込にてご寄付頂く場合は、通信欄へのお名前、ご住所、お電話番号、メールアドレスの記入をお願いいたします。

寄付金控除について

特定非営利活動法人底上げは平成 28 年 7 月 27 日付けで、宮城県より「認定特定非営利活動法人（認定 NPO）」として認定されました。これにより、平成 28 年 7 月 27 日以降に寄付いただいた金額は、税制優遇の対象となります。

ご寄付いただきましたみなさまには当法人より、お名前、ご住所等必要事項を記した領収証を発行しております。確定申告時に申告していただくことで、税額控除ないしは所得控除を受ける事が可能になります。

詳しくは最寄りの税務署にご相談いただきますよう、お願い致します。

